



NY発

# 小池絵未の国際機関探訪

こんにちは！小池絵未です。今回は、国連人道問題調整事務所(OCHA)国連中央緊急対応基金(CERF)事務局の小出圓(こいでまどか)さんを訪ねました。

◆今回訪問した国際機関

## 国連人道問題調整事務所(OCHA)

- OCHAは、自然災害や紛争等で被災した人々の生命と尊厳を守るために25年前に設立。「調整で命を救う」ため、各国政府、他の国連機関、赤十字、国際NGO等と連携し、緊急・人道支援活動の具体的な調整等を行います。
- CERFは、災害や紛争の発生時に、緊急人道支援の初動財源を補填し、被害の拡大を防ぎ、援助が行き渡らない「忘れられた危機」へ対応するため、国連人道機関と国際移住機関(IOM)に資金を拠出します。

◆お話を聞いた方

こいで まどか

小出 圓さん

国連人道問題調整事務所(OCHA)  
国連中央緊急対応基金(CERF)  
事務局  
人道問題担当官補



①いつ頃、国際機関で働こうと思いましたか？

高校生の時、元国連職員だった祖父から米国留学を勧められ、交換留学生としてウィスコンシン州で滞在中に国連を意識するようになりました。

具体的に国際機関で働こうと考え始めたのは、更に、米国の大学に留学してからです。

②どのような学歴をお持ちですか？

高校卒業後、米オハイオ州オーバリン大学に進学、在学中にイタリア・トスカナ州シエナにも留学し、イタリア語、イタリア史、イタリア文化人類学を勉強しました。

これらの留学経験が、自分の世界観を広げると同時に、コミュニケーションの大切さを痛感するきっかけになり、その後、大学では 国際異文化間コミュニケーションと生物を専攻しました。

大学卒業後は、ワシントンDCにあるジョージタウン大学大学院に進み、言語・コミュニケーション研究修士号を取得しました。

### ③国際機関に入る前はどのようなお仕事をしてきたのですか？

大学卒業後、NYで半年程短期間契約の仕事をしていた時、国連本部でのツアーガイドの仕事を募集していることを知り、応募しました。

2007年秋、日本の祖父が亡くなり、その1ヶ月後に国連ツアーガイドとして採用され、国連職員として働き始めました。祖父に国連職員になったことを伝えられなかったのはとても残念でした。

国連のツアーガイドの仕事は、国連を訪れる一般の訪問客や学生、企業、市民団体のグループなどを引率して、国連総会や安保理の会議場を案内し、国連の歴史や構造、などを説明するものでした。

ツアーガイドの仕事は、国連への入り口としては最高の仕事だったと思います。

大学院進学のため1年休職した後、ツアーガイドに復帰し、ツアー業務に加え、30人ほどいる新ガイドのトレーニングを担当することになりました。

2012年からは、事務総長報道官室に異動し、首席報道官のアシスタントを務めました。

事務総長報道官室は、世界で起きる様々な出来事を把握して事務総長に助言し、どう対応するのかを考える部署です。

また、各国首脳との会談、国際会議への参加、各国訪問など事務総長のことをメディアに伝えます。

今までで一番忙しい仕事でしたが、国連組織の中核業務や意思決定について学ぶとても貴重な機会でした。



### ④どのような方法で国際機関に入りましたか？

大学院在籍中に、初めてJPOに応募しましたが、その時はもう少し経験を積んだ方がよいと外務省の方からアドバイスをいただきました。

再度、JPOへ応募し、2014年合格しました。

国連職員の仕事のほとんどがフィールドにあるので、自分もフィールドに行きたいと思っていたところに、2013年11月末、フィリピンに大きな台風が来襲しました。

現場での支援に自分も加わりたいと強く思い、JPOとしてOCHAフィリピン事務所で勤務を開始しました。

フィリピンでの人道危機や支援の調整、報告、広報及びパートナーシップ構築業務等一人何役もの仕事をしたのですが、人道支援の現場における国連の役割や課題を理解する上で本当に良い経験をしました。

### ⑤今の仕事について詳しく教えてください。

フィリピンでの勤務後、2016年11月からOCHA・CERF(国連中央緊急基金)事務局での仕事につくことができました。

CERF事務局は、世界中の緊急人道支援の初動財源を補填するために年間約4億5,000万ドルの基金を運営しています。

例えば、大地震が起きた時に、現場の人道支援チームが被害状況を把握して必要な人道支援計画をまとめ、それに沿ってヒト・モノ・カネが動員されますが、資金が集まるまでには数週間から2ヶ月程度かかることが多いです。

CERFの緊急対応枠はそのようなギャップを埋めるための資金を拠出します。

初動支援に特化した基金なので、一番大切な救急医療や飲料水の確保、仮設テントの設営等、被災者が早急に必要としている支援に優先的にお金をつけます。

緊急人道支援を必要としている人たちは年々増えています。資金面でもプログラム面でも支援が追いついていない現状ですが、CERFの仕事は各国政府等から高く評価されて、年間予算が現在の2倍以上の10億ドルに増額されることになっています。

CERFをより戦略的・効率的に使われるためにはどうすれば良いか、という大切な議論の中心に自分がいられるということが、日々の仕事のやりがいです。

## ⑥今後のキャリアについてどのようにお考えですか？

国連で働く仕事の面白みは、国連は大きい組織ですが、その業務基本は全部繋がっていることです。

その中で今まで私が歩んで来た道は、その時々を開いたドアを通り抜けて、新しいステップを重ねてきた結果だと思っています。

だから私は、あまり的を絞って広報だけの仕事をしたいとは考えていません。

OCHAの人道支援の仕事は人道支援全体を大きな視点で仕事を捉えることができ、他の国連機関や政府・NGO組織とのネットワークも広げられるので、まだまだまだしばらくはOCHAで働いて、学びたいと考えています。

長期的には、フィールドと本部を行き来しながらするようなお仕事をしたいです。

## ⑦国際機関を目指している方にメッセージをお願いします！

まずは自分の強みや興味のあることを掘り下げてほしいです。国連には本当に色々な仕事があるので、逆に言えばなんでもできます。国連で何がしたいのかということをよく考えてほしいです。

どういう状況下でも面白く思えたり、意義があると思えることがあれば、困難な場面でもくじけず働けると思うので、そういう自分の「軸」のようなものを探してほしいのです。

国連の仕事の面白みのひとつは、多様な文化圏の人たちと一緒に働けることです。

日本人は聞き上手な人が多いので、相手が何を言いたいのか察知する能力が高いと思います。これは日本人が世界で評価されている能力の一つだと思うので、国際機関で働く時にも役立ちます。

また、環境が変わることを恐れないでほしいです。私は、国連本部の仕事を辞めてJPOでフィールドを経験したのですが、その決断をして本当に良かったと思っています。

今の仕事が本当に楽しくて充実しているうちに、次はどうしようかと考えたほうが良いかもしれませんね。

自分がそろそろこの仕事飽きて来たなと思った時には、もう次の仕事に移っていられていくくらいの方が良いです。

みなさんが自分のために投資できる時間を大切にしてください。





⑧ 今回の取材を振り返って。感じたこと。

小出さんは、今まで本当に様々な内容の濃い留学経験や職務経験をしているなど驚きました。

小出さんは、とても素晴らしい世界観や視野を持っている方です。そして、JPO制度を使ってフィリピンに渡る前も、すでに国連本部のツアーガイドや事務総長報道官室での勤務を通して、色々な能力を身につけていて、とても尊敬できる方です。

世界平和のために働いている小出さんは、とても輝いています。

この人道支援という仕事への情熱を熱く感じました。

私(小池)は世界のために何か貢献しているか？何ができるか？と考えさせられ、私も頑張らなきゃという気持ちになりました。

小出さんの歩んで来た道は、その要所要所で汗を流して努力を積み重ねてきたことが、現在の活動に全て繋がっているように感じました。

毎日の積み重ねの努力を忘れずに努力すれば、小出さんのようにとてもやりがいのある大きなお仕事につけるのですね。



小池絵未 (Emi Koike)

1983年11月7日生まれ。東京都渋谷区出身。

高校から競技チアを開始し、3年連続で日本選手権大会第3位。米国ウエスタン・ケンタッキー大学に進学。大学のチアダンスチームに所属し、2005年全米大学チア・アンド・ダンス選手権で優勝。

その後、NHLナッシュビル・プレデターズ、アトランタ・ホークス、NHLアトランタ・スラッシャーズのダンスチームのメンバーとして活躍。2011年からはNFLのチアリーダーとしてニューヨーク・ジェッツで活躍。

NFL、NBA、NHLの米国3大スポーツリーグでチアリーダーに選出されるのは、日本人としては史上初。2013年チアリーダーを引退し、日本テレビ NFL倶楽部の現地リポーターとして活動中。ニューヨーク在住現地スポーツリポーターとして、NFLだけでなく、NBA、MLBの取材にも携わっている。

外務省 国際機関人事センター Newsletter  
「小池絵未のNY発国際機関探訪」VOL.6

出演：小出 圓 国連人道問題調整事務所（OCHA）  
国連中央緊急対応基金（CERF）事務局  
人道問題担当官補

取材地：NY

2017年3月30日発行



外務省 国際機関人事センター

[jinji-center@mofa.go.jp](mailto:jinji-center@mofa.go.jp) / 03-5501-8238

<http://www.mofa-irc.go.jp>



<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center>